

当院のフォーミュラリー案（最終案）

■経口消炎鎮痛薬（NSAIDs、アセトアミノフェン）の院内フォーミュラリー

対象年齢	第一選択薬	第二選択薬	その他
成人	ロキソプロフェン錠	ジクロフェナクNa錠	アスピリン末 注) 過去の処方実績の大半は川崎病での使用であるが、急性期の抗炎症作用に加えて抗血小板作用も期待して使用されているため、アスピリンについては本フォーミュラリーの位置づけには含まない
	アセトアミノフェン錠 カロナール細粒	ナイキサン錠	
	セレコキシブ錠 注) 消化器障害等のリスクが懸念される場合使用を推奨する	注) 第一選択薬で十分な効果が期待できない場合使用を検討すること	
小児	アセトアミノフェン錠 カロナール細粒	ブルフェン錠	

■補足

1. 痛風発作に対して適応を有するのはナイキサン錠、アスピリン末のみです。
2. 高用量のアセトアミノフェン（カロナール）は肝障害のリスクが高いため慎重に投与し、肝障害発現時は他剤への変更をご検討ください。
3. 腎機能障害のある患者はNSAIDsの使用は避け、アセトアミノフェンをご検討ください。
4. 消化器障害の既往のある患者またはリスクの高い患者は、選択的COX-2阻害薬（セレコキシブ）の使用、またはプロトンポンプ阻害薬（PPI）の併用をご検討ください。
5. 血栓症のリスクの高い患者に対して選択的COX-2阻害薬（セレコキシブ）を使用する際は血栓症のリスクを考慮の上、慎重に投与してください。